

誰かのために

第12期OB 梶田 伸吾

「ただ勝ちたいという思いよりも、誰かのために勝たなくてはならないという思いが自分を強くさせてくれる」

テレビで男子バドミントンの桃田賢斗選手のインタビュー映像を見た際、強く印象に残った言葉です。桃田選手といえば、皆さんご存知の通り、違法賭博問題で一時はバドミントンの世界から追放されたものの、復帰後破竹の勢いで勝ち上がり、今では男子シングルで世界一、五輪金メダル候補を言われています。一体、何が彼を変えたのか、それは、「人のために戦う姿勢」だといいます。復帰する時に勇気づけてくれたNTTの社員やチームメイトのために勝ちたい、だからこそどんなに劣勢の試合でも最後まで死力を尽くして戦うことができる、と言っていました。

私事ではありますが、2020年1月に子供が生まれました。名前は、梶田 伸一郎と名付けました。伸哉(父)→伸吾(私)→伸一郎(息子)となります。生まれてきた瞬間は、自分がこれまで生きてきた中で感じたことのない、表現しがたい喜びを感じました。少し大げさですが、この世界にはまだ自分が感じたことのない喜びが沢山あると気づきました。

2020年は、桃田選手と同じ“誰かのために”という姿勢で、家族のために、いつも支えてくれる周りの先輩や仲間のために、プライベートでも仕事でも妥協せずに自分にできることを精一杯やっていくつもりです。小野先生はじめ小野ゼミの皆さま、今年もどうぞ宜しくお願いいたします。



2020年1月，自宅にて